

市 勢

●概要

千葉県の北東部に位置し、千葉市から50km圏、東京都心から80km圏、また成田国際空港からは25km圏に位置しています。

東西にJR総武本線と国道126号が走り、鉄道では特急で千葉駅から約60分、東京駅から約90分の所要時間です。

また、首都圏中央連絡道路及び地域高規格道路である銚子連絡道路の整備が進められており、これらの開通とともに、成田や東京都心へのアクセスが容易になります。

江戸時代に「樁の海」と呼ばれる淡水湖が干拓され、それに続く水利事業によりできた「干潟八万石」と呼ばれる肥沃な穀倉地帯を基盤とした農業や漁業を中心に発展を遂げた後、昭和40年代には国道126号の開通、その後の工業団地等の整備など都市として産業・文化・芸術などの環境の充実も進みました。また、昭和28年に開設した国保旭中央病院は、地域医療・福祉の中核施設となっています。

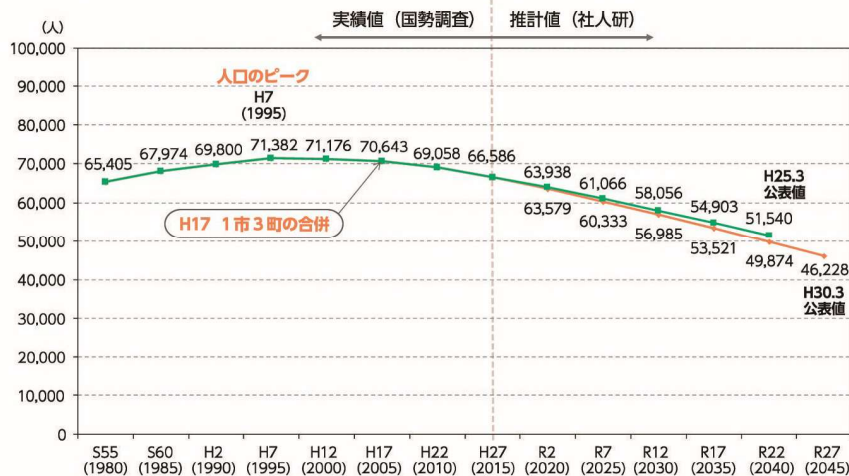
平成17年7月1日に旭市・海上町・飯岡町・干潟町が合併し、新「旭市」となり、東総地域の中核都市としてさらなる発展を目指しています。



●人口

本市の総人口は、平成7年(1995年)の71,382人をピークに減少し、平成27年(2015年)国勢調査では66,586人となっています。また、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」)において公表された人口推計では、さらに人口が減少すると予測されています。今後は人口減少・超高齢化社会等への時代を見据えた社会基盤の構築を図り、若者がこのまちに魅力を感じ「住みたい、住み続けたい」と思えるような住環境や雇用、教育環境をつくり、人口減少に歯止めをかけることを目指します。

◆総人口の推移(昭和55年(1980)～令和27年(2045))



資料：S55～H27は国勢調査、R2以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年(2018)3月公表)」